



<p>【生徒／学校の現状】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 義務教育段階の学力に課題がある生徒や、長期欠席・不登校経験者が多くなってきており、勤労青少年の在籍は少ない。 2 学校は落ち着いた生活を送れる環境にあり、多くの生徒が学校生活に適應している。また、資格取得に励む生徒もいる。 3 規則を守ることや指示に従うことなどはできるが、主体性や積極性に課題がある。 4 コミュニケーションに課題がある生徒が多くなってきている。 5 生徒理解の上にたった、個に応じた適切な指導と成功体験の積み重ねさせることが必要。 		<p>【教育目標】</p> <p>自律：教養を高め、情操と知性との調和を図り、合理的なものの見方や実践の仕方を体得させる。 そして、健康で責任感のある自律の人をつくる。</p> <p>協調：他人の人格、立場及び意見を尊重する。 そして、互いに協力し合って社会生活を明るく豊かにする生活態度を身に付けた協調の人をつくる。</p> <p>技術：工業技術者としての基礎的、専門的な知識を修得させる。 そして、勤労意欲と創意工夫に喜びを見出すことの出来る技術の人をつくる。</p>
<p>【予想される社会の変化】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人口減少・高齢化の進行による生産年齢人口減少、人口密度低下と地域的偏在の進行 2 情報通信技術(AI等)の更なる進展による製造業就業者の減少とサービス業就業者の増加 3 時間と場所に縛られない新たなビジネススタイル・ライフスタイル創造の可能性 		<p>【学校像/学校経営計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 命と体と仲間を大切にす学校 2 生徒一人一人の力を伸ばす学校 3 家庭、地域、企業と連携する学校 4 定時制工業高校のモデルとなる学校

【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）】

思いやりの心をもって他者と協働し、その時代に貢献できる社会人

【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力】

①基礎学力 ②コミュニケーション能力 ③主体性 ④自己理解・自己管理能力 ⑤キャリアプランニング能力

【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】

育成すべき資質・能力	レベル1	レベル2	レベル3
（何を知っているか、何ができるか） 知識・技能	基礎学力	各教科・科目の授業に参加できている。	定期考査や小テスト等で、6割以上得点できている。一つ一つ指示に従って実習作業ができている。
	コミュニケーション能力	先生や周囲の生徒の話を聞くことができる。	先生や周囲の生徒の話を聞いて、相手の伝えたいことが理解できる。
	主体性	小金井工業に自分の居場所があることを理解している。	気持ちは、自分を取り巻く環境に影響されること知っている。また、その環境は人のせいにして何も解決しないことを知っている。
	自己理解 自己管理能力	食事や睡眠、手洗い・うがいなど、自分の健康衛生管理ができている。	時間割や行事など、学校の予定を把握できている。
	キャリアプランニング能力	何のために学ぶのか、何のために働くのか、自分の答えをもっている	就職や進学などの卒業後の進路について、具体的にどのような選択肢があるか知っている。
（知っていること・できることをどう使うか） 思考力・判断力・表現力等	基礎学力	教科・科目の学習を進めていくために、どのような知識や技能が必要であるか気付くことができる。	学習したことを活用して、教科・科目の問いの解決法を考えることができる。実習レポートをまとめることができる。
	コミュニケーション能力	自分の気持ちや考えを簡単な文にまとめることができる。	相手の話を聞いて内容を理解し、それに対する自分の考えをまとめて伝えることができる。
	主体性	自分が学習などに取り組みやすい環境や支援してほしいことは何かを見出し、改善のために先生や友人に相談している。	授業や集団活動の中で、誰かが答えを出してくれるまで待つのではなく、自分なりの考えをまとめている。
	自己理解 自己管理能力	他者の多様な価値観を理解し、自分の価値観に気付くことができる。	グループ学習やクラス、行事、部活動などの集団活動で、自分の役割を認識し、責任を果たすことができる。
	キャリアプランニング能力	卒業後や将来やりたいことややりたくないことなどから、自分の進路希望を考えることができる。	自分の希望する条件を基に進路先の候補を調べ、複数挙げるができる(定職者は除く)。
（どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか） 学びに向かう力、人間性等	基礎学力	授業毎や学習内容毎に振り返りを行い、学習したことを整理しようとしている。	振り返りを基に、わからないことを残さず、一つ一つ解決しようとしている。また、自分に合った勉強方法を見つけようとしている。
	コミュニケーション能力	先生や友人、来校者など学校で会う他者とあいさつしようとしている。	お互いの得意やよさを認め、助け合いながら、学習をはじめとしたさまざまな活動に取り組もうとしている。
	主体性	先生や友人が何かをしてくれたとき、それがどんなに小さなことでも感謝の気持ちを伝えようとしている。	自分の発言や行動で、周囲の人がどのように感じるかを考えようとしている。
	自己理解 自己管理能力	自分ができることと苦手なことを理解しようとしている。	自分ができることを伸ばし、苦手なことを改善できるように工夫や努力をしようとしている。
	キャリアプランニング能力	可能性を広げるため、今の自分に必要な力は何かを考え、行動しようとしている。	成績や資格取得など、自分の目標を定め、それに向かって継続的に取り組もうとしている。

目指すべき生徒の将来像

思いやりの心をもって他者と協働し、その時代に貢献できる社会人